

## ■ 経済学研究科

### 1 教育研究上の目的

#### (研究科規程 第3条)

1. 本研究科は、経済学の分野で創造的・独創的研究を推進し、先駆的な情報を発信するとともに、経済学の高度な専門知識の深奥を極め、かつ関連する専門領域を横断した学際性を備えた研究者・高度専門家を育成することを目的とする。
2. 博士前期課程においては、経済学について幅広くかつ深い学識の涵養を行い、経済学における高い研究能力またはこれに加えて卓越した専門能力を有した人材を育成し、博士後期課程においては、経済学における研究者・高度専門家として、国際的に通用する専門知識・能力をもつ人材を育成する。

### 2 3つのポリシー

#### 育成する人材像

世界で活躍する国際的経済人、高度な知識を身に付け社会に貢献できる専門職業人、ならびに経済の本質に迫る経済学者の育成をめざす。

#### ①ディプロマポリシー

下記の能力を身につけた学生に学位を授与する。

##### 経済学専攻 博士前期課程

1. 経済学の専門知識と方法論を習得している

##### 経済学専攻 博士後期課程

1. 経済学の高度な専門知識と方法論を習得している

##### 経済学専攻

1. 理論あるいは政策課題を識別・設定している
2. 識別・設定した課題に関して分析・評価を行えるようになっている

##### 地域公共政策専攻

1. 経済学の方法論を習得している
2. 幅広い経済学の素養を身につけている

## **地域公共政策専攻 地域ガバナンスプログラム**

1. 経済学の方法論を特定の政策分野に適用できる
2. 政策立案や政策評価ができる

## **②カリキュラム・ポリシー**

### **経済学専攻 博士前期課程**

経済学の基幹科目をはじめ、世界の様々な地域に関する科目や、情報関連の科目などを最先端の内容で学ぶ。具体的には、理論経済学大講座の諸科目において理論・計量・歴史、経済政策学大講座において経済政策・法学、比較経済学大講座において国際的な経済・社会に関する科目を学ぶ。（経済学専攻 博士後期課程）研究の方法を身につけるために演習を中心として学び、高度な専門科目（特殊研究）も学ぶ。初年次より、主査だけでなく副査2名を決め、複数教員から研究指導を受ける。学位論文を提出するまでに、学内で2回の公開の研究発表会を設け、副査はもとより、より多くの教員の指導を受ける機会とする。

学修成果の評価は、試験、レポート、授業貢献度、発表内容等により、学修目標に即して多面的な方法で行う。

### **地域公共政策専攻 地域ガバナンスプログラム**

ディプロマポリシーで掲げる能力を備えた人材を育成するため、1年次に政策分析基礎や費用便益分析を基礎科目として学び、そのうえで統計分析手法科目と政策分野ごとの専門科目を学ぶ。2年次はおもに修士論文の作成を行う。経済学専攻博士後期課程への進学の道も開かれている。また、修士論文に代わりポリシーペーパー（政策立案報告書）の提出でも修士号がとれる。長期履修制度を設け、社会人受講生に一定の配慮をしている。

学修成果の評価は、試験、レポート、授業貢献度、発表内容等により、学修目標に即して多面的な方法で行う。

### **地域公共政策専攻 財政・税務プログラム**

ディプロマポリシーで掲げる能力を備えた人材を育成するため、1年次に財政学や租税法1を基礎科目として学び、経済学科目はもとより、法学科目、とりわけ税法科目を学ぶ。2年次はおもに修士論文の作成を行う。長期履修制度を設け、社会人受講生に一定の配慮をしている。

学修成果の評価は、試験、レポート、授業貢献度、発表内容等により、学修目標に即して多面的な方法で行う。

### ③アドミッションポリシー

学生募集停止に伴い記載は省略します。